

九州大学の取り組み

高速インターネットを活用した 遠隔医療教育プログラムの開発

九州大学病院 国際医療部
アジア遠隔医療開発センター長
清水 周次

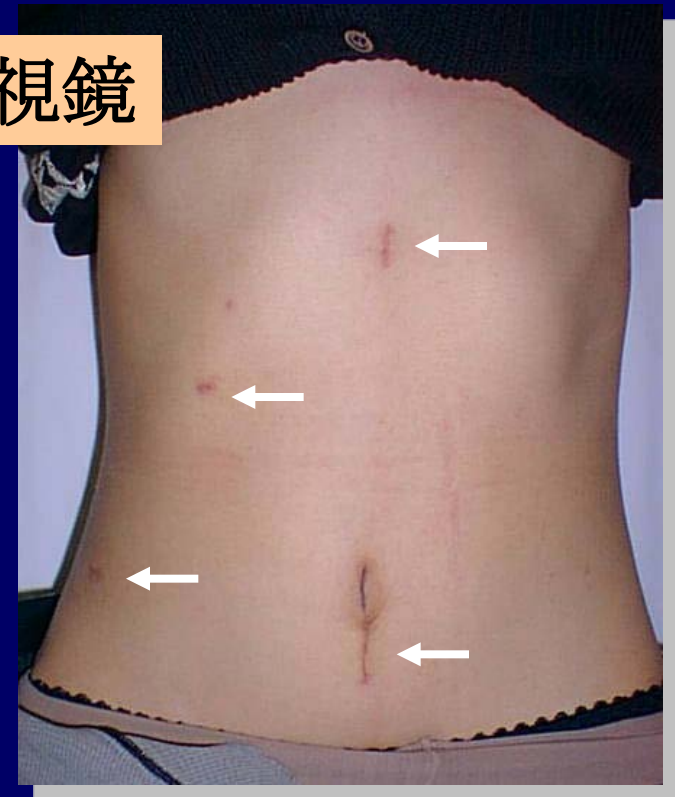
内視鏡手術 <外科の革命>

- 1990年代: 内視鏡手術の黎明期
- 胆嚢摘出術から、あらゆる領域への急速な展開

開腹



内視鏡



当時の外科医教育

- 研究会や学会
- 手術の見学

➡ 限定的、時間、コスト

特に海外！

インターネットによる遠隔教育は便利！

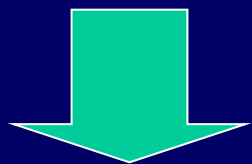
- 物理的移動が不要
- 拡張性・反復性

➡ 経済的かつ効率的・日常的

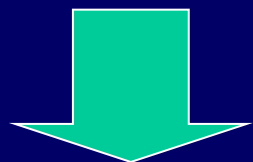


遠隔会議/ライブデモ

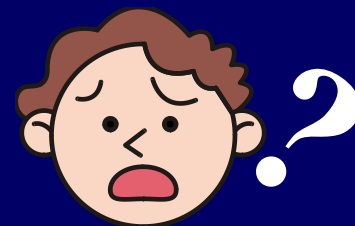
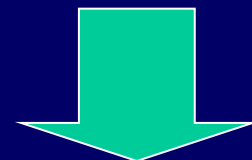
1990年代



インターネット



画質が悪い！



衛星/専用機器



値段が高い！

日韓ワールドカップサッカー 2002



日韓拠点大学交流事業

2002年



韓国の医療施設



日韓超高速
インターネット

容量: 2ギガ
(250倍に)

九大に
拠点



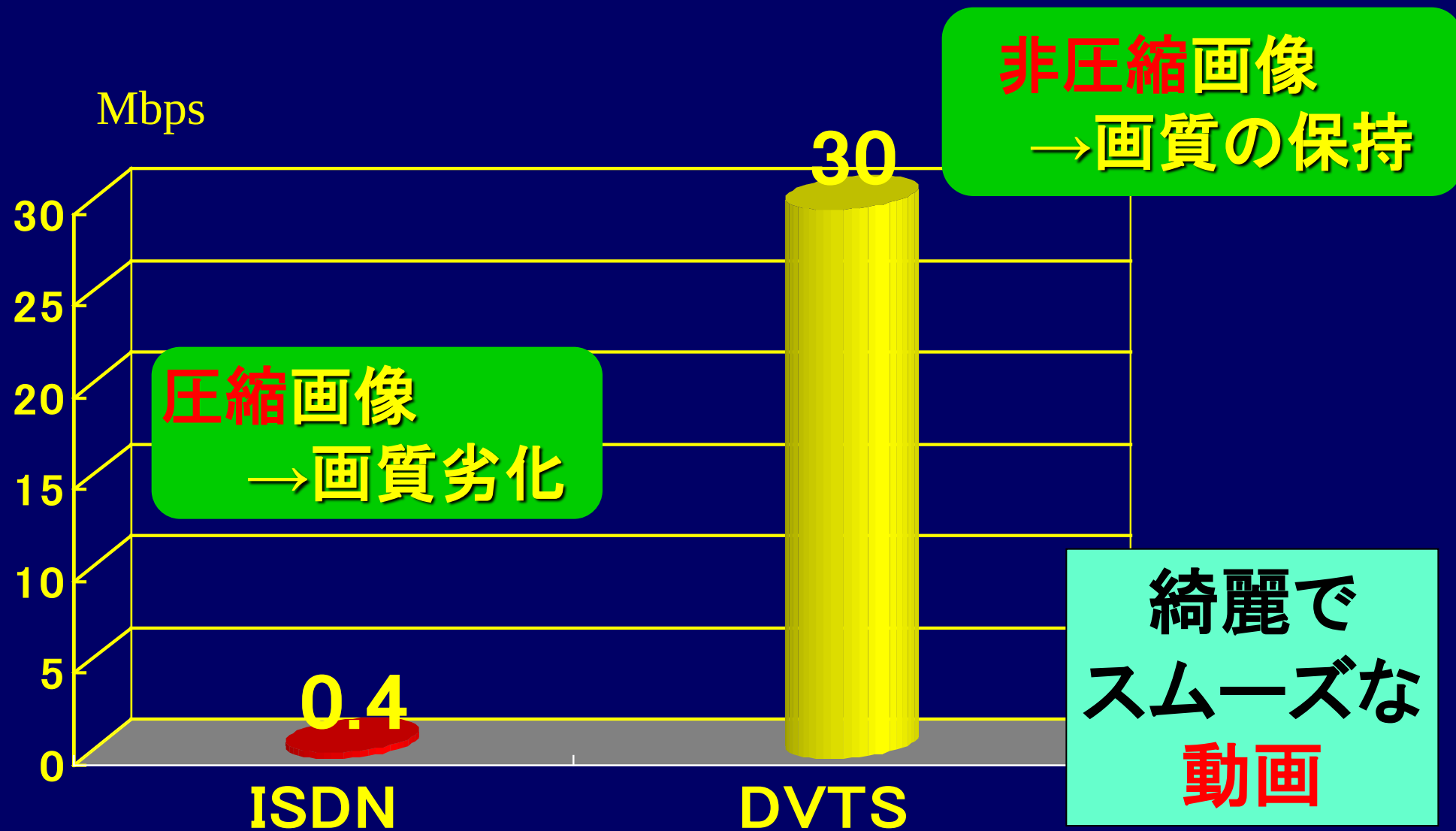
有川副学長

梶山総長



九州大学

ポイント1. 大容量回線



ポイント2. 安価で汎用的な機器

ビデオカメラ



PC



DVTS: 無料のソフト



ポイント3: 学術ネットワーク(一例)

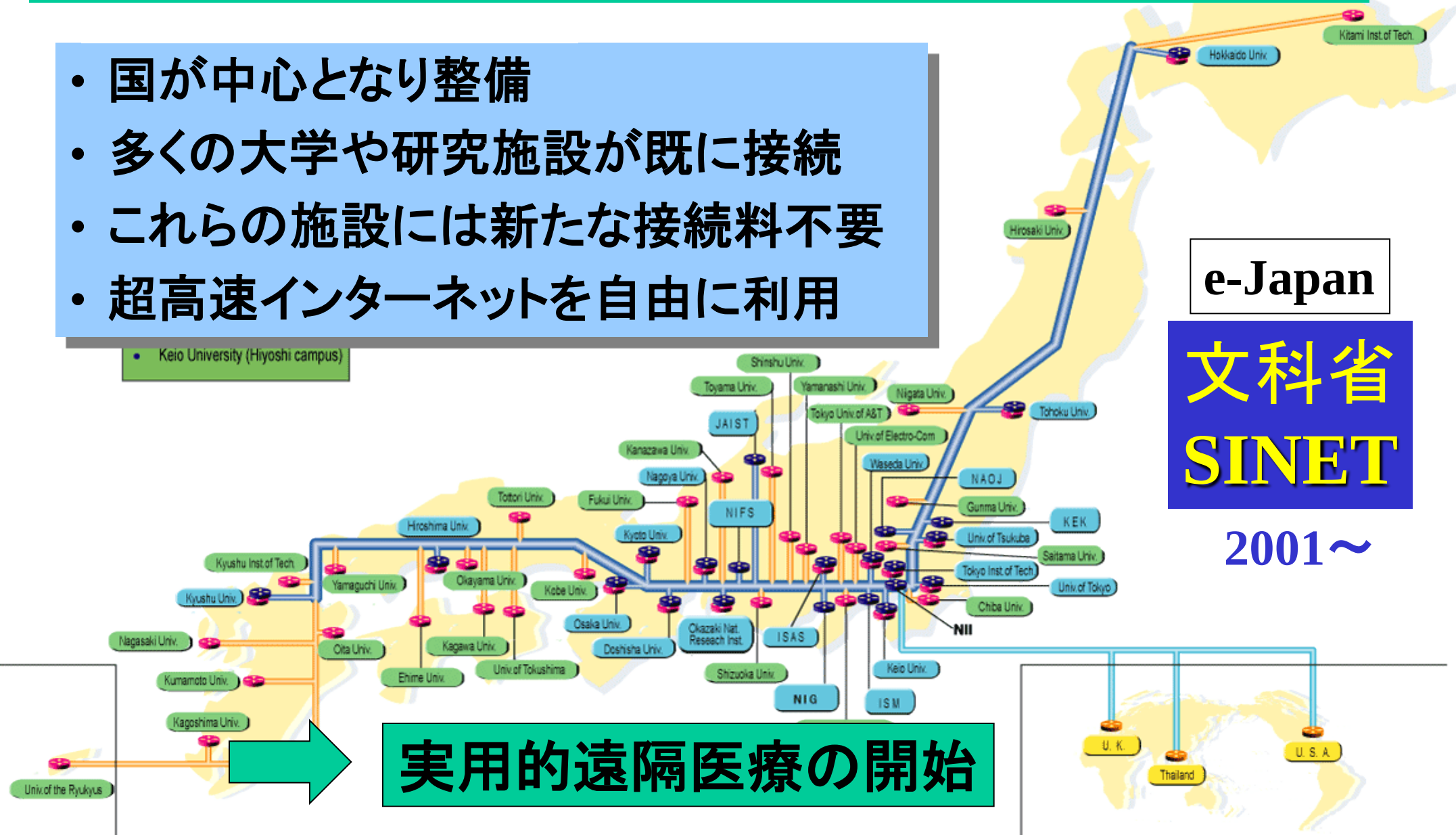
- ・ 国が中心となり整備
- ・ 多くの大学や研究施設が既に接続
- ・ これらの施設には新たな接続料不要
- ・ 超高速インターネットを自由に利用

e-Japan

文科省
SINET

2001~

実用的遠隔医療の開始



初めてのライブ手術

2003.8



手術室

手術画像

- 胃癌の内視鏡手術
- 医者のニーズと技術の融合



日本側：九州大学



韓国側：国立がんセンター